

@
林業女子会
京都

木育 AtoZ





A

B

C

D

E

G

F

H

message

すべての人が木とふれあい、木に学び、
木と生きることが木育です。

林業女子は自然を愛し、林業を愛し、
木と共に生きることを愛しています。

木育はそんな私たちの生き方そのものを
導いてくれるものです。

林業女子が木育と出会い
生まれた A to Z。

木育は楽しい。

木育の始めの一歩を踏み出そう。

contents

A	遊び asobi
B	文化 bunka
C	child こどもから年齢まで child difference
D	ディファレンス ehon
E	えほん fg
F	fg gokan
G	五感(視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚) hi
H	火 isyokuju
I	衣食住 japan (漆器、漆)
J	kyoiku
K	教育 library
L	ライブラリー mori
M	森

N	仲間 nakama
O	おばあちゃんの知恵 obaachan
P	ペレット pellet
Q	クエスチョン question
R	林業 ringyo
S	杉 sugi
T	旅 tabi
U	生み出す umidasu
V	ビジョン vision
W	workwork workwork (わくわく)
X	コラボ x
Y	ヨガ yoga
Z	雑木林 zokibayashi



こどもと一緒に木のおもちゃで遊んでみませんか。それは、人と木が初めて出会う場所になるかもしれません。やさしい手触りと口に入れても安心な素材の木のおもちゃは、適度な重みが指先の訓練に調度よく、木と木が触れ合う音色は心地いいもの。使いこむほどに味わいが深まって、傷や汚れも思い出の印となっていきます。

遊び 森綾子

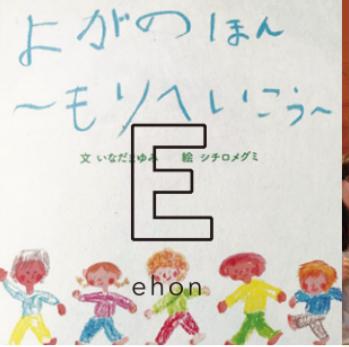
祭りの篝火、茶道の炭手前、家の中心に囲炉裏、木の燃料は社会や暮らしを支え、文化を育んできました。薪や炭の伝統的な利用とともに、ペレットやチップ、技術革新で新しい道具も生まれています。火やエネルギーを大切にする心、炭火を愛で、お茶を飲む豊かな時間、木と火のある暮らしを見直してみせんか。

文化 松田直子

次世代へ土と空、森や林、自然の中での先代がつちかった生活を伝えるということ。例えば、草木を使って工夫しながら「つるかご」のつくり方そしてつるの性質等を教わり、日々の暮らしへ役に立つ情報を集めて、ここらのこもった暮らし方を学び子どもへ伝えて行きたいです。

稻田真弓

C
child



節があったり、曲がっていたり、色も、形も、匂いも、触り心地も…。木材はひとつとして同じものは無く、それぞれに違う個性を持っています。長所に見えるところも、短所に見えるところも、どちらも尊い個性です。自然の中に生きる、人もおなじ。木育とは、違いを認めあい、互いを活かしていく心を育てることがあります。

ディファレンス 黒岩絵里子

ヨガのポーズを物語につむいでえほんを作りました。子どもたちにもヨガを楽しんでもらえるように「よがのほん もりへいこう」を製作しました。なかよしの子どもたちがみんなで森へでかけて森の様子や気分に合わせてヨガのポーズをしていくお話をします。自然を感じながらヨガに親しんでもらえるように。

えほん
稻田真弓

林業女子会@京都は、2010年7月に林業を応援したい様々な業種の女性が集まり、女子会を開いた事からスタートしました。その中で、「ファッション雑誌みたいに、林業をPRしたら面白そう!」とフリーペーパー「fg (forestry girls)」の編集部が立ち上がりました。2019年3月現在、vol.7まで刊行されています。

森あかね

木育は2004年に北海道で生まれた言葉で、子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と、木や森とのかかわりを主体的に考えられる豊かな心を育むことを目指しています。五感とひびきあう感性を育み、自然と人が共存して生きる「持続可能な社会」を生み出す力となる、人づくりを大切にしています。

五感（視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚）
松田直子

林業女子会@京都の拠点「京都ペレット町家ヒノコ」は、木や火を現代の暮らしに生かす方法を発信するお店です。冬になると店内奥では、赤々とペレットストーブの火が燃えています。こんな街中で?本物なの?と、多くの人を魅了する火。木が豊富にある日本で、木から生まれるエネルギー「火」をもっと使っていきましょう。

火
森綾子

あなたは今日、「木」に触れましたか?「触って無い!」と思った人、椅子はどうですか?テーブルは?床は?お箸はどうでしょう?紙も木から作られているものがあるし、木を原料にした布も作られています。時代とともに形は変化して行きますが、今でも、わたしたちの暮らしは、たくさんの木によって支えられています。

衣食住 黒岩絵里子



漆の語源は一説では「麗し(うるわし)」とも「潤し(うるおし)」とも言う。縄文時代に遡る古来より、日本人そして世界中の人々を魅了してきた漆は「人の肌にとても近い感触」を持った塗料と言われる。そのためたかみが日本独特の食事の作法、器を手に持ち口に付けて食いただく作法を生んだとも。そんな五感で楽しむ感性に優れた日本人が愛した器です。

japan (漆器、漆) 川勝ユキ



木とふれあい、木に学び、木と生きる「木育」。奈良県吉野町では、木や森にふれて感性を磨き、ものづくりの技術を学び、ふるさとの良さを誇りに感じる「木のまち吉野の木育」を取り組んでいます。地域の森林や木材を使い、地域の人と連携しながら、未来を生き抜く子どもの力を育む木育は、無限の可能性を秘めています。

教育 橋元美穂



木のまち吉野では、地域のお祭りや木育のイベントで、木や森に関する本100冊の展示と木のものづくりを体験できる「木育ライブラリー」を開いています。薄い板と手漉き和紙を合わせたしおり作りや、木のおもちゃで遊べるスペース、時々カフェもあったりと訪れた人がそれぞれの形で木にふれあうことができます。

ライブラリー 橋元美穂



森へ行こう。サクサク、ガサゴソ木々の間を進んで行くと色々な香りがしてきます。春には芽吹いた命の香り、夏には元気な緑の香り、秋には熟した美味しい香り…そんな里山に行ってみませんか?日本の人々が忘れかけていた里山に今、足を踏み入れてみると、森の健康状態を知ることが出来ます。今、里山の木々は元気ですか?

森 森あかね



ランチしよう!一林業女子会 @京都は、「女子の力で林業を盛り上げたい」と「女子」というキーワードで仲間が集まり、カフェでの女子会にて発足しました。今年で設立から9年。全国に仲間の輪が広がりました。これからも、たおやかに林業を愛し、フラットなつながりから新たなムーブメントを生み出し続けていきます。

仲間 豊濱萌



日本の里山の風景をつくってきたご尊老。その暮らしぶりを辿れば、自ずと気づかされる先人の知恵がある。春は柴に田んぼの苗づくり。山菜採りに塩漬け。夏は山で草刈り、畑の水やり。お茶に梅干し、しば漬けづくり。秋は稻刈り、栗拾い、きのこ採り。干し柿。ぬか漬け。狩猟。冬は納豆、味噌、お餅、おせちづくり。藁ない、お針仕事。

おばあちゃんの知恵 川勝ユキ



P

pellet



Q

question



R

ringyo



S

sugi



T

tabi



U

umidasu

木を乾燥や粉碎して、熱と圧縮の力で粒々に加工した物が、木質ペレットです。主にストーブやボイラーなどの燃料として使われます。地域によって工場の規模や使われる材料は様々です。例えば、京都市では、東山・北山・西山の三山などの間伐材を主に使い、木こりによって製造。少しずつ森のエネルギーの循環を実現しています。

ペレット

森あかね

質問が浮かぶ。木育が担う可能性とは何に対してあるのか。その答えを歴史の観智から、未来のために守るべき産業の探求、現在の生活に活かせる知識とは、何か、過去現在未来へと木育を通して質問し続けています。

クエスチョン

稻田真弓

林業。それはひとことは語れない。とても大切な仕事であり都市住民にとっても無視できない重要な役割を担う産業である。木育を考えるとき「林業」という営みを無視しては語れない。木とはなにか、自然とはなにか、持続可能な社会とは何か。環境と経済と豊かな暮らし。「林業」と「木育」がつながることで、脳化社会、都市化社会で失われた何かが、取り戻せるかもしれない。未来を切り開く何かが。

林業

内海美沙

日本三大人工美林の一つである吉野林業地帯(奈良県中南部)で生み出される杉。吉野杉は江戸時代から樽や桶の材料に適していたため盛んに植えられ、その後も高級建築材として使われてきました。吉野林業は「密植・多間伐・長伐期」が特徴で、材は年輪幅が細かく直通で無節、色や香りも良く、まさに吉野の自然の恵みです。

杉

橋元美穂

旅の語源は“他火”であり、他者や他所にともる火のこと。森の国ニッポン、地域ごとの森林の多様性と一期一会の出会いを楽しみつつ、旅を通して自ら発見し、己の軸を探すこと。遠くの土地に岡かけるだけでなく、身近なところでも木に目を向け、散歩、ピクニックなど小さな旅も楽しんでみませんか。

旅

松田直子

森が「生み出す」ものひとつに光合成による酸素がある。葉は、日光の動きに対して光合成量が最大になるよう向き等を変えながら折り合いをつけていく。人間は【最適化問題】に苦労することが多いけど、自然(森)は既に「最適化問題に解を与えてる」。「自然の精緻な仕組みを知る」ことが出来れば、人間は大切な「術」を得ることになる。

生み出す

内海美沙



林業女子は、100年先を考える余裕の女子です。同時に、小さなことで思い立つたらすぐアクションを起こします。決まった未来像はありません。楽しみながら、しなやかに自身の役割を見つけます。女性である自分と人・林業を愛し、それを未来の世代まで伝える。林業女子とは、そんな女子の生き方そのものもあるのです。

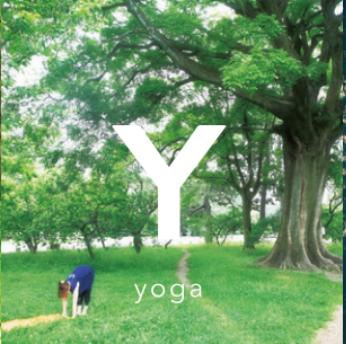
ビジョン 豊濱萌



workwork



x



yoga



zokibayashi

元祖林業女子より

平成が始まった一月、私は家族を京都に残し三重県へ単身赴任。

女性が現場主任になるのが珍しい時代で、現場作業員の方達からも奇異の目で見られた。当時の現場作業は男世界だった。

ところが今、女性仲間がたくさんいる。このことはこの上もない喜びである。これからも力を合わせて現場作業の喜びを皆で分かち合いたい。

久山多代子

元祖 林業女子(元林野庁職員)
現在は、京都森林インストラクター会にて活躍中!



削った時に立ち上る香り、切ると出てくる思いがけない年輪の模様、時を経るごとに味わい深くなる質感。手にとってくれた人と木にまつわるお話をしたり、どんな人のもとで役立ってくれるのだろうと思い浮かべたり、困難に頭を悩ますことさえ。木と共にする仕事は日々、そんたくさんの「わくわく」にあふれています。

Workwork(わくわく) 黒岩絵里子

何かと何かをかけ合わせることで、新しい魅力が生まれます。林業女子会も林業×女子という、なんでもない言葉をかけ合わせ発信したことで存在が認知されるようになり、たくさんの方々の応援によって成長してまいりました。これからも林業の魅力を世界中に発信できるよう、様々な可能性を見出していくたいです。

コラボ 中村広美

ヨガは心とからだに平穏をもたらしてくれます。そして、自然の中でヨガをやってみると屋内で行うよりも更にリフレッシュできます。自然が森の恵みで免疫細胞により影響を及ぼし自己治癒力を引き出すことができます。

ヨガ 稻田真弓

近くに森がないという方も、探してみると意外とすぐそばにあるかもしれません。雑木林は、実は私たちにとって身近な自然のひとつではないでしょうか。「雑」という文字で見えづらくなっていますが、そこにはひとつひとつが輝く無数の命があります。ゆっくり静かに呼吸をしてみれば、センス・オブ・ワンダーで溢れているでしょう。

雑木林 中村広美



林業女子会@京都



林業女子会は京都
発祥、全国24地域
へ広がっています。

2010年に発足した
森や木を愛する女子の有志団体です。
チェーンソーを巧みに操る人や、
木工品を販売している人、
純粋に木が好きな人など
川上～川下の様々な人が活躍しています。
年齢、職業不問です!

女子だからできることは何だろう?をモットーに、
イベント開催や勉強会などを行なっています。
また、2017年度からは木育部を設立し、
小さいときから木に親しんでもらう木育活動を展開中。
林業女子がすくすくと育ってくれるといいな。

林業女子会@京都は市内のほかに
花背、南丹、和束の3支部を設けました。
さらに、林業女子会は全国にも仲間が増えています。
あなたもお近くの林業女子会で活躍してみては?



全国の林業女子のサイト

<https://forestrygirls.wixsite.com/portal>
全国の林業女子が集まるサイトです。
最新情報の発信や、質問なども受け付けております。



森民～Moritami～

林業女子会@南丹が参画中

森民～Moritami～では、
森の恵みを伝え、届けることで森林林業に取り巻く
課題の解決を目指した取り組みをしています。
森育や森のもったいないを価値に変えるイベント、
森の恵みの商品開発を中心に活動中。

今後は新たな林業のカタチ、
森の価値の創出を目指していきます。

2017年に林業女子会@南丹が発足し、
森民の活動に参画しています。

南丹市は、林業が盛んな地域ということもあります。
チェーンソーマン、森林プランナー、獣師などの
現場技術者も多く所属しています。

山の現状を女子目線、現場発信でおしゃれに、
楽しく、おいしく伝えていければと思っています。



森民～Moritami～

<https://www.facebook.com/moritami.jp/>
FBにて日々の活動の様子がチェックできます。
イベント情報なども発信中。

林業女子会@京都

木育AtoZ

発行日 2019年3月

メンバー 稲田真弓(森ヨガ講師)
内海美沙(森林プランナー)
川勝エキ(林業女子会@京都・花背支部)
黒岩絵里子(木工製作人)
豊濱萌(林業女子会@京都)
中村広美(林業女子会@京都)
橋元美穂(吉野町地域おこし協力隊&木のおもちゃ作家)
松田直子(燃料屋&バイオマス旅 案内人)
丸山智子(林業女子会@京都)
森あかね(田舎もん)
森綾子(京都ベレット町家ヒノコ)

協力 前田敦子(里山ガイド)
藤村香菜子(わざどころPON)
齊藤文美(ようてい木育俱楽部)
齊藤香里(ようつい木育俱楽部)
吉原徹(木好 七郎左衛門)
田舎生活研究所
上桂川地域活性化協議会
(公財)京都市森林文化協会
木育・森育 近畿フォーラム2018実行委員会

連絡先 林業女子会@京都
〒604-0931 京都市中京区寺町二条下ル梗木町98番地7
京都ベレット町家ヒノコ内
fg.kyoto@gmail.com
<https://fg-kyoto.wixsite.com/fg-kyoto>

森民～Moritami～
〒629-0322 京都府南丹市日吉町四ツ谷柏木14
旧五ヶ荘小学校内
utsumi@moritami.org
<http://moritami.wixsite.com/moritami>

この冊子は「京都府地域力再生プロジェクト支援事業」を
活用して作成しています。

